

河原の坊コース登山道崩壊状況速報(2016年5月29日現在)



千丈ヶ岩(標高1750m)付近: 深さ最大約2m、幅約10mで地面が大きくえぐれ、土砂が登山道を完全に流失させ、浮き石が大量に発生。

雨が降れば再び崩壊する恐れがある。



崩壊の源頭部(標高1764m付近)



千丈ヶ岩基部の標柱は土砂に埋まっている。

千丈ヶ岩～打石: 登山道がV字谷のようにえぐれて流失したり土砂に埋まったりしている。浮き石が大量に発生。

打石(標高1686m): 大石が上方からいつも直撃。基部の標柱は5mほど下に逆さまに落ちている。



打石～御座走り岩: 登山道があちこちで流失し、浮き石が多数発生。



御座走り岩(1595m)付近: 登山道の目立った流失はないが上方からの落石と落石の痕跡が見られる。

御座走り岩～御神坂: 登山道や法面が至る所で流れ、上から落ちて来たと見られる落石と落石の痕跡が最も低いところで頭垢離(標高1377m)付近に達している。

